

大学名

九州大学（附属図書館）

第60号テーマ
「大学図書館」

表題

中村哲先生の志を次の世代に継承する九大プロジェクト

九州大学では、アフガニスタン及びパキスタン北西部において長年にわたり医療、灌漑、農業等に心血を注いでこられた故中村哲医師（1946-2019、九州大学医学部卒・特別主幹教授）の志を次代につなぐため、久保千春前総長の発案により、関係部署や教員の連携の下、標記プロジェクトを立ち上げました。本プロジェクトの核となるのが、図書館内に設置した「中村哲医師メモリアル・アーカイブ」、及び2021年度から開講する「中村哲記念講座」です。

中村哲医師メモリアル・アーカイブ

2021年3月オープン

中村哲記念講座：
中村哲先生の想いを繋ぐ

中村哲医師メモリアル・アーカイブは、展示スペースと「中村哲著述アーカイブ」で構成されています。

展示スペース

中央図書館きゅうとコモンズ内

中村哲著述アーカイブ 九州大学学術情報リポジトリQIR内



「一人称で語る」をコンセプトに、映像、グラフィックス、年表、書籍等で氏の言葉と活動を伝える。

ガラススクリーンには、学生らが読書会を重ねる中で選んだ言葉が綴られている。

「「良い経験になった」などというセリフは止せ。君らのロマンや満足のために仕事があるのではない」目的を見失いがちな私に、この言葉は喝を入れてくれると思います。（共創学部1年 岡本偉吹）



氏が書き著した文章や発した言葉をデジタルデータの形で収集保存し、インターネットで公開。

活動報告、記録写真、新聞・雑誌記事、講演記録等を収録する。



全学部の1年生を対象とする基幹教育総合科目において、2021年度夏学期から開講。

氏がやってきたことの意味を理解し、それと同じ意味を持つことを実行するための考え方やヒントを学ぶ。

氏と一緒に活動してきた方などの講演のほか、「中村哲医師メモリアル・アーカイブ」を活用した自主学習やグループワークを行う。

コンテンツの登録にあたっては、多くの出版社や団体から掲載・公開の許可をいただき、アーカイブへの期待の大きさを感じました。（附属図書館eリソース課 室井万穂）

今後、展示スペースでの関連イベントの開催や著述アーカイブの活用など、教育・研究と連携した取り組みを展開していく予定です。

中村哲氏の活動や語り著した言葉は、活動領域にとどまらずあらゆる分野で教育や研究の優れた題材になると同時に、様々な課題に直面する現代社会において、多くのヒントと示唆を与えてくれます。また、我々の仕事や生活においても拠って立つ指針となるでしょう。本プロジェクトの実施にあたり、九州大学では氏の活動母体で現在も現地支援を続けるベシャワール会（福岡市）と相互協力の協定を締結しました。地域と連携しながら社会の課題解決に貢献する、そのひとつのモデルともなりうるものだと考えています。

中村哲著述アーカイブ <https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/nakamuratetsu>